

お客様へ

M i E V p o w e r B O X

M Z 6 0 4 7 7 5

取扱説明書

このたびは「M i E V p o w e r B O X」をお買い上げ頂きまして、有難うございました。

常に最良の状態でご使用して頂くために、本取扱説明書をよくお読み頂き、内容をご理解されてから、正しくご使用下さい。
なお、本取扱説明書は大切に保管しておいて下さい。

はじめに

1. 本取扱説明書には安全・快適にお使い頂くために、お守り頂きたいこと・知っておいて頂きたいことを、次のマークで表示しています。

△警告 **△注意** は、安全にお使い頂くために、必ずお守り下さい。

△警告 は、守らないと死亡や重大な傷害につながる恐れがあります。

△注意 は、守らないと傷害や事故につながる恐れがあります。

◆アドバイス は、快適にお使い頂くために、知っておいて頂きたいことを記載しています。

2. 本商品の使用上のご不明な点がございましたら、三菱自動車販売店にご相談下さい。
3. 本取扱説明書の記載事項を守らなかつたために、発生した不具合につきましては責任を負いかねる場合があります。また、本商品の電力供給の低下や自動停止などにより生じた損害に、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承下さい。
4. お使いになる前に次の内容を必ずお読み下さい。また、お使いなる時は本取扱説明書を確認しながら、本商品および車両の操作をして下さい。

△警告

- ・ お子様には絶対に操作させないで下さい。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ・ 当社指定車両以外には絶対に接続しないで下さい。本商品や車両の故障の原因になります。
- ・ 分解・改造は、絶対に行わないで下さい。火災や感電などの重大な事故の原因になり、保証対象外になります。また、本商品や接続された電気機器及び車両が故障する恐れがあります。
- ・ 雨や雪がかかる場所、湿気の多い場所で使用しないで下さい。濡れた手での操作は絶対に行わないで下さい。感電する恐れがあります。
- ・ 周囲の安全を確認して、他の車両や通行者の邪魔にならない場所で使用して下さい。
- ・ 電力会社からの電気配線（含む屋内配線）に接続しないで下さい。火災や感電などの重大な事故の原因になります。また、本商品や接続された電気機器及び車両が故障する原因になります。
- ・ 医療機器の電源として使用しないで下さい。
- ・ 体内植込み型の心臓ペースメーカーや除細動器などの医療機器を使用されている方は、本商品に近づかないで下さい。使用中に発生する本商品の微弱な磁気が医療機器の作動に影響を及ぼす恐れがあります。
- ・ 本商品を装着したまま、走行しないで下さい。
- ・ 本体やケーブルに重大な傷や破損を発見した際は、絶対に使用しないで下さい。
- ・ 車両の急速充電口の金属部には絶対に触れないでください。感電等の重大な事故につながる恐れがあります。
- ・ 日本国内での使用に限ります。海外では使用しないで下さい。
- ・ 安全性には十分配慮しておりますが、この取扱説明書で示す重要な安全指示事項は、起こりうる全ての状況や状態を表しているものではありません。ご了承下さい。

三菱純正品

J
2014.10

△注意

- ・異常表示が点灯、または非常停止ボタン使用後に主電源を再投入しても正常に動作しない場合は、三菱自動車販売店にご相談下さい。
- ・車にて搬送する際は本商品が落下／転倒／破損等しない場所に積載し、強い衝撃を与えないようして下さい。
- ・本商品を持ち運びする際には、運搬用取手を確実に持ち、落下など衝撃を与えないようご注意下さい。事故や機器の故障が起こる原因となります。
- ・MiEV power BOXをご使用中は、無理に給電コネクターを動かさないようにして下さい。給電コネクターと、急速充電口の接点部に異常が発生する恐れがあります。また、正常な状態であっても、何らかの異常があったとみなし、車両の安全保護システムが作動し、充放電および走行ができなくなる場合があります。
- ・車両の駆動用バッテリーの電圧(注1)や使用環境温度(注2)により、出力が2割程度低下する場合があります。特に直射日光が当たる場所で使用する場合、内部が外気温以上に上昇し、過負荷警告点灯や異常停止する場合があります。

注1：入力電圧範囲：200V～370V

注2：本体の作動保証温度は-30℃～60℃。保証温度外では作動できなくなる場合があります。

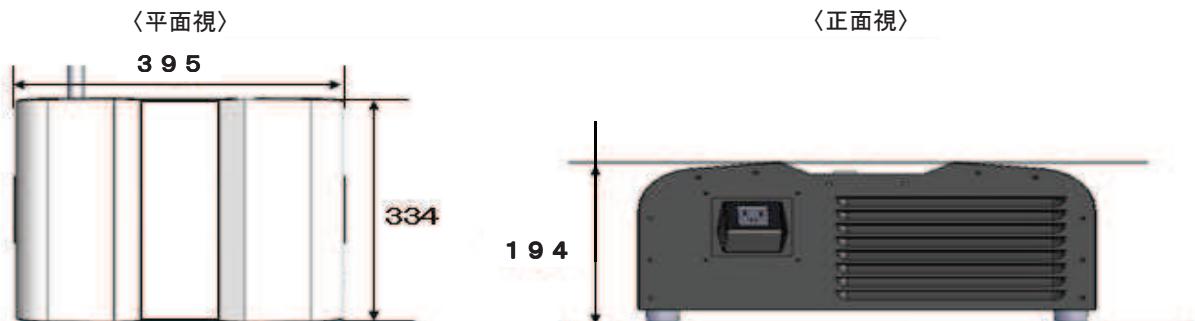
アドバイス

- ・車両の普通充電と本商品の同時使用はできません。
*本商品で給電開始すると車両メーター内の充電ランプは点灯しますが、急速充電口に接続した本商品の作動が優先されるため、車両の普通充電口にケーブルを接続しても普通充電は作動しません。
- ・本商品はV2H (Vehicle to home:電動車両から家庭に給電する方式)に対応した仕様ではありません。
本商品の出力を建物などの電気配線に接続しないで下さい。
車両から本機を介して建物内配電盤や電気配線/コンセントにつなぐことは「電気設備の技術基準の解釈」の規定に対し、不適合となります。

【 目 次 】

| | | | |
|--------------------|-------------|---------------|------------------|
| 1. 商品説明 | ・ · · 3 ページ | 12) 表示部 | ・ · · 5 ページ |
| 2. 各部の名称 | ・ · · 4 ページ | ① 使用可能電力容量 | |
| 1) 開始/停止ボタン | | ② 出力 | |
| 2) 非常停止ボタン | | ③ 過負荷警告 | |
| 3) 吸気口 | | ④ 異常 | |
| 4) 運搬用取手開始/停止ボタン | | 3. 使用方法 | ・ · · 6 ~ 11 ページ |
| 5) 主電源スイッチ | | 1) 準備 | |
| 6) コンセント | | 2) 装置の起動 | |
| 7) 排気口 | | 3) 使用中の表示部の見方 | |
| 8) 周波数切替スイッチ | | 4) 装置の停止 | |
| 9) アース棒差込口 | | 5) 非常停止 | |
| 10) アクセサリーソケットケーブル | | 4. 保管方法 | ・ · · 12 ページ |
| 11) 給電コネクター | | 5. メンテナンス方法 | ・ · · 12 ページ |
| | | 6. 故障かな？と思ったら | ・ · · 13 ページ |

[外形図]



寸法：334 × 395 × 194 (mm)

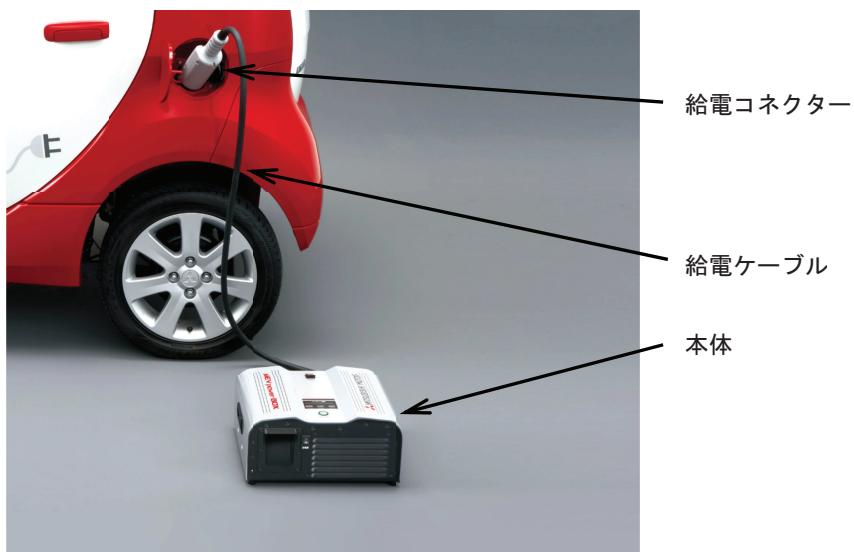
重量：11.5 kg (本体、給電コネクター、アクセサリーソケットケーブル含む)

[仕様]

| | | | |
|-----------|------------|--------|----------|
| 連続最大出力 | 公称 1500W | 入力電圧範囲 | 200～370V |
| 定格出力電圧 | AC100V±10V | 動作温度範囲 | -30～60°C |
| 周波数(変更可能) | 50/60Hz | 保存温度 | -40～85°C |

1. 商品説明

- 1) 当社急速充電機能付きの車両において、車両の駆動用バッテリーより AC 100V の電力を供給するための 1500W 電源給電装置 (*) です。
* 使用環境、使用電気製品によっては 1500W を供給できないことがあります。
- 2) 最大出力 1500W の電力で、約 5 ~ 時間 (*) の電気製品の使用が可能です。
* 16.0 kWh 仕様車：充電時。10.5 kWh 仕様車の場合は約 3 ~ 4 時間となります。
- 3) 本商品はバッテリーではありません。蓄電機能はありません。)

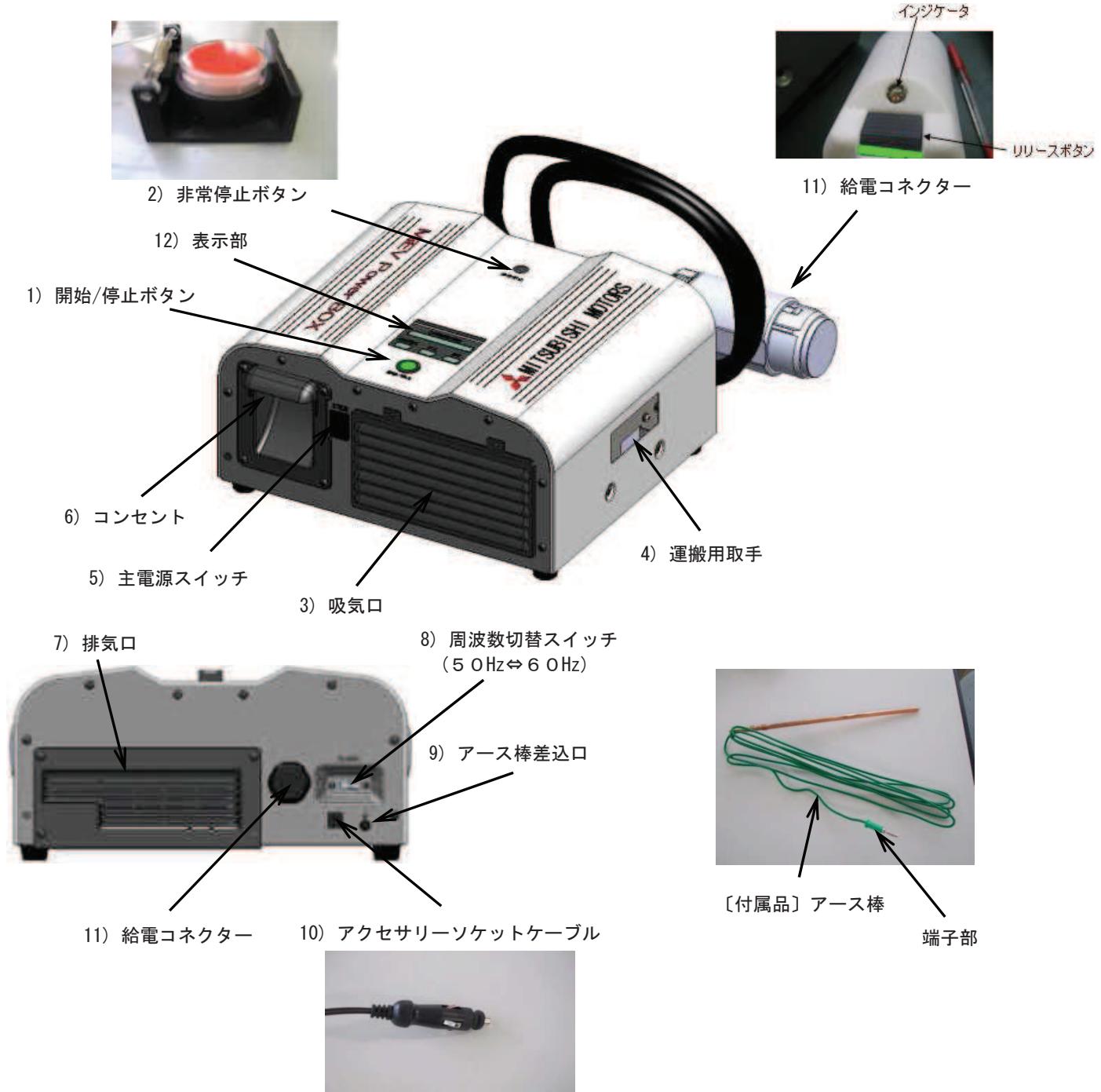


【お使いになられる前に】

- ・ 本商品を使用するにあたり、車両の生産時期によっては販売会社にて車両コンピューターのソフトウェアをバージョンアップする必要があります。(OUTLANDER PHEV を除く)
- ・ バージョンアップに伴い、下記項目についても仕様変更される場合がありますが、ご了承下さい。
 - (1) 航続可能距離表示の信頼性向上。
 - (2) 回数課金型の急速充電器に対応し、1回の急速充電で充電する量を増大。
 - (3) 新たに市場投入が始まった低出力の急速充電器への対応として、充電時間が長くなっても車両側から充電を停止しないよう変更。
 - (4) メインとサブ 2つあるアクセルペダルポジションセンサの切替え：頻発すると、駆動トルクに僅かなむらが生じることがあるため切れえ判定条件：変更。

注) 仕様変更内容は、車種・年式により異なることがあります。
詳細は三菱自動車の販売店にお問い合わせ下さい。

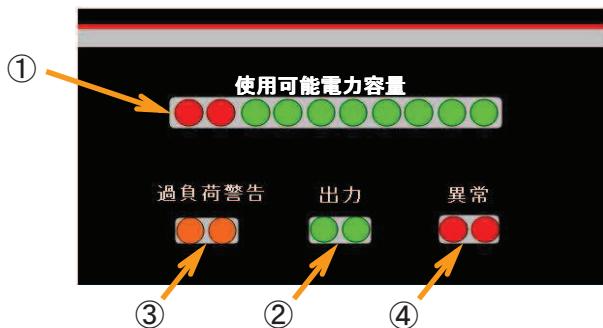
2. 各部の名称



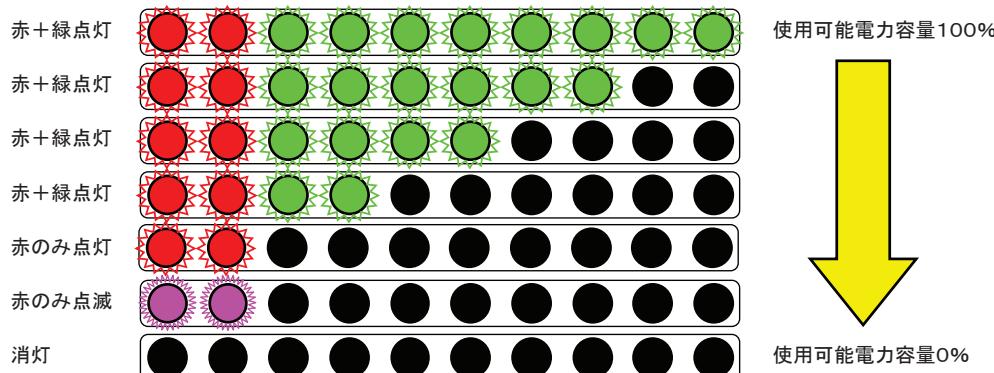
- | | |
|-------------------------------|---|
| 1) 開始/停止ボタン | … AC 100V の供給開始/供給停止を行います。 |
| 2) 非常停止ボタン | … 動作の緊急停止を行います。 |
| 3) 吸気口 | … 冷却するための空気を取り込みます。 |
| 4) 運搬用取手 | … 移動させるための取手です。側面の左右にあります。 |
| 5) 主電源スイッチ | … 起動させるための電源の供給、供給/遮断を行います。 * - : ON、○ : OFF となります。 |
| 6) コンセント | … 使用する電気製品の電源プラグを差し込みます。 |
| 7) 排気口 | … 内部の熱を排気します。 |
| 8) 周波数切替スイッチ (50Hz ⇄ 60Hz) | … 供給する電力の周波数(50Hz ⇄ 60Hz)を切替えます。 |
| 9) アース棒差込口 | … 付属品のアース棒の端子部を差し込みます。 |
| 10) アクセサリーソケットケーブル | … 車両から起動用電源を取り出すためのケーブルです。 |
| 11) 給電コネクター | … 車両の駆動用バッテリーから電力を取り出すためのコネクターです。 * リリースボタン：給電コネクターを車両から取り外す時に押します。 インジケータ：ロックが掛かっている間は赤く点灯します。 |

12) 表示部

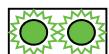
… 動作状況を示します。



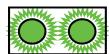
① 使用可能電力容量 : 電力供給に使用できる車両の駆動用バッテリー容量の目安を表示しています。



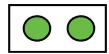
② 出力 : 主電源スイッチの状態および出力状態を示しています。



(ゆっくり点滅時) : 「主電源スイッチ」がONになっている状態です。



(早く点滅時) : AC 100V電力供給準備中もしくは終了準備中の状態です。

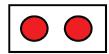


(点灯時) : AC 100Vが供給可能の状態です。

③ 過負荷警告 : 使用している電力量が大きいと点灯・点滅します。



(点滅時) : 本商品の出力電力量がおおむね1200Wを超えると点滅します。



(点灯時) : 本商品の出力電力量がおおむね1500Wを超えると点灯します。

④ 異常 : 異常を検出したら点灯します。

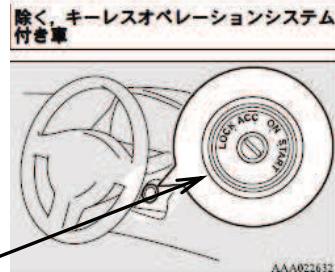
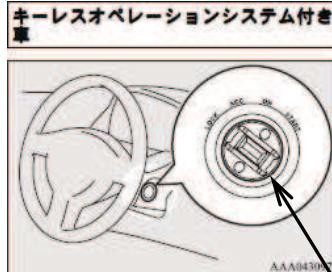
3. 使用方法

1) 準備 …… 本商品を起動する前の準備をします。

- ① 車両を平らな場所に駐車し、駐車ブレーキをかけ、セレクタレバーが「P」、車両のパワースイッチが、「LOCK」（またはOFF）、メーター内のREADY（走行可能）表示灯が消灯していることを確認して下さい。

！警告

- ・ 車両の駐車ブレーキがかかるっていない場合、及びセレクタレバーが「P」でない場合、車両が無人で動き出す恐れがありますので、確実に操作して下さい。
- ・ 急な坂道での駐車は避けて下さい。
- ・ 周囲の安全を確認して、他の車両や通行者の邪魔にならない場所で使用して下さい。

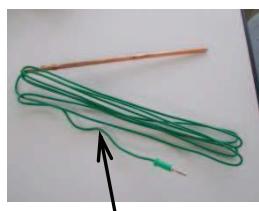


- ② 本商品を、平らな硬い場所に置いて下さい。

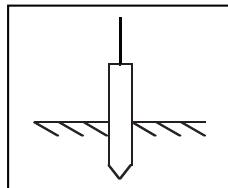
！警告

- ・ 本商品を立てて設置しないで下さい。転倒し故障する恐れがあるだけではなく、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。
- ・ 枯草や紙くず、油など燃えやすいものの上や近くに設置しないで下さい。
- ・ 吸気口・排気口を塞がないで下さい。故障の原因になるだけではなく火災を引き起こす恐れがあります。

- ③ 本商品に付属のアース棒端子部を本体へ差し込み、アース棒をアースさせて下さい。



アース棒（付属品）



！警告

- ・ アース棒の先端は非常に尖っていますので、取扱には十分注意して下さい。使用しない時は、キャップをつけて保管して下さい。
- ・ アース棒は、アース以外の用途に使用しないで下さい。

！注意

- ・ 使用する電気機器のコンセントにアース端子がある場合は、本商品を必ずアースして下さい。
- ・ 使用する電気機器がアース線をアースするよう指定されている場合は、本商品も必ずアースして下さい。

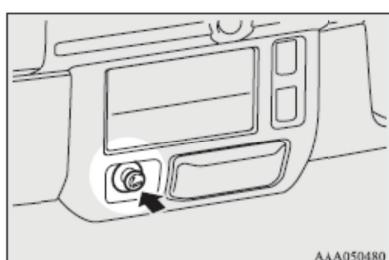
2) 装置の起動 … 本商品を起動し、電力供給を開始します。

① 本商品の主電源スイッチがOFFになっていることを確認して下さい。

② 車両のアクセサリーソケットまたはシガレットライターソケットに、本商品のアクセサリーソケットケーブルをしっかりと差し込んで下さい。



〈i-MiEVの場合 アクセサリーソケット〉



〈MINICAB-MiEVの場合
シガレットライターソケット〉

③ 給電コネクターを正しく持ち、車両の急速充電口にカチッと音がするまで、しっかりと差し込んで下さい。



給電コネクターの持ち方

アドバイス

給電コネクターのリリースボタンが上がっていると、給電コネクターが正しく差し込まれている状態です。リリースボタンが上がってない場合は、リリースボタンを押して、一旦給電コネクターを外し、正しく差し込み直して下さい。

アドバイス

多くの製品機器は周波数50／60Hzのどちらでも使用できますが、使用する電気製品に指定がある場合は、周波数切替スイッチを指定の周波数に合わせて使用して下さい。

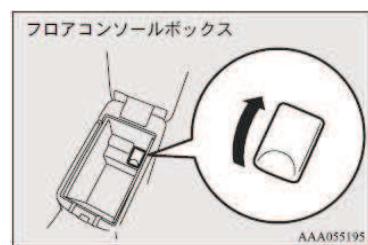
周波数の切替え操作は、主電源が入っていない状態で行って下さい。

注意

- ・ アクセサリーソケットケーブルは、ドアや窓に挟まないようにして下さい。断線する恐れがあります。
- ・ アクセサリーソケットケーブルを落下させたり、乱暴に取り扱わないようにご注意下さい。
- ・ アクセサリーソケットケーブル、給電コネクター及びケーブルは、本体から分解できません。無理に引っ張ると故障の原因となります。



〈OUTLANDER PHEVの場合 アクセサリーソケット〉



〈OUTLANDER PHEVの場合 アクセサリーソケット〉

注意

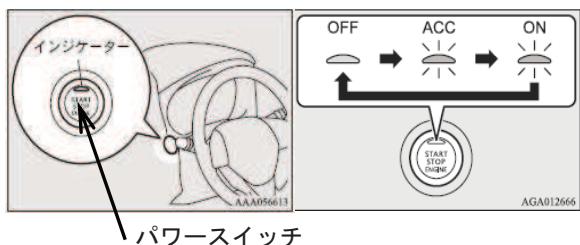
- ・ 給電コネクターは正しく持って差し込んで下さい。車両との間に手を挟んだり、手が滑って怪我をする恐れがあります。
- ・ 給電コネクターを落下させたり、乱暴に取り扱わないようにご注意下さい。絶対に無理に引っ張ったり、搖すったりしないで下さい。車両または本商品の故障の原因となります。また、ご使用時に前述内容をしてしまうと、車両が伝染の異常があったとみなしき、車両の安全保護システムが作動し、充放電及び、走行ができなくなる場合があります。
- ・ 給電コネクターおよび、急速充電口の先端部にほこりなどの異物が付いていないか確認して下さい。急速充電口に対して給電コネクターの端子の位置と向きが正しいことを確認し、必ず垂直に給電コネクターを差し込んで下さい。斜めに装着すると給電コネクター や、急速充電口を損傷する恐れがあります。
- ・ 決して給電コネクターを無理に差し込んだり、抜かないで下さい。給電コネクター や急速充電口を損傷する恐れがあります。
- ・ 給電コネクターが正しく差し込まれていない状態で給電開始を行った場合、本商品の異常表示ランプ及び、車両メーター内のパワーユニット警告灯が点灯しますが、本商品や車両の故障ではありません。



パワーユニット警告灯

- ・ 再度給電を行う場合は、本商品の主電源スイッチをOFFにして、「3. 使用方法」に従って操作を実施して下さい。

- ④ 車両のパワースイッチを、ACCにして下さい。



参考：OUTLANDER PHEV の場合

アドバイス

- パワースイッチが、READY(走行可能)状態では、安全のため本商品は起動できません。
- OUTLANDER PHEV のパワースイッチの使用方法は、車両の取扱説明書をご参照下さい。

- ⑤ 本商品の主電源スイッチをONにして下さい。

アドバイス

主電源スイッチをONにすると、セルフチェックのため一旦表示部の全ての表示が点灯し、数秒後に消灯します。正常に完了すると 表示部の出力インジケータがゆっくりとした点滅になります。

- ⑥ 表示部の出力インジケータがゆっくり点滅していることを確認し、開始/停止ボタンを押して下さい。

- ⑦ 表示部の出力インジケータが点灯に変わり、電力が供給可能状態になったことを確認して下さい。

アドバイス

- 開始／停止ボタンを押すと、電力の供給開始処理が始まり、表示部の出力インジケータが早い点滅に変わります。処理が終わると、表示部の出力インジケータが点灯に変わり、電力供給が可能な状態になります。
- 電力の供給が開始されると、車両メーター内の残量計と充電ランプが点灯します。

- ⑧ 車両のパワースイッチについて、以下のようにして使用して下さい。

i-MiEV または MINICAB-MiEV で使用する場合
車両のパワースイッチをOFFにして下さい。

OUTLANDER PHEV で使用する場合
車両のパワースイッチをACCのままで使用して下さい。

注意

- 車両のパワースイッチをACCのまま使用した場合、車両のAC電源オートカット機能により、約30分で電源が自動的にカットされます。(詳しくは、車両の取扱説明書をご参照下さい。)
- AC電源オートカット機能OFF設定状態で、装置停止後、車両のパワースイッチをACCのまま長時間放置すると、車両の補機用バッテリーが上がり、車両が起動できなくなる恐れがあります。
- OUTLANDER PHEVでは、車両メーター内に電源OFFマークが点灯する場合もありますが、車両のエンジンスイッチは押さず、ACC状態のまま使用して下さい。

- ⑨ 車両から、本商品のアクセサリーソケットケーブルを取り外して下さい。

注意

アクセサリーソケットケーブルはプラグを持って取り外して下さい。ケーブルを引っ張って外すと断線する恐れがあります。

- ⑩ 使用する電気製品の電源スイッチがOFFであることを確認し、電気製品の電源プラグを本商品のコンセントに接続して、使用を開始して下さい。

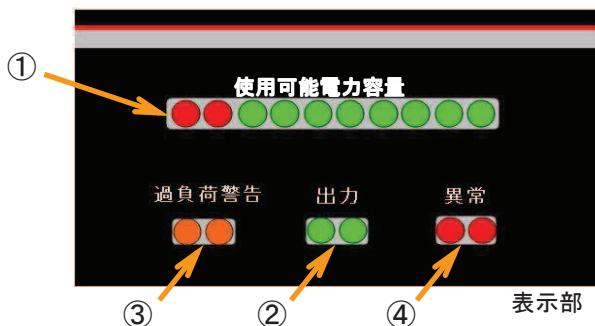
!**警告**

- ・ 電力会社からの電気配線（含む屋内配線）に接続しないで下さい。火災や感電などの重大な事故の原因になります。また、本商品や接続された電気機器及び車両が故障する原因になります。
- ・ 本商品はV2H（Vehicle to home：電動車両から家庭に給電する方式）に対応した設計になっていません。本商品本機の出力を建物などの電気配線に接続しないで下さい。車両から本機を介して、建物内配電盤や電気配線/コンセントに繋ぐことは「電気設備の技術基準の解釈」の規定に対し、不適合となります。

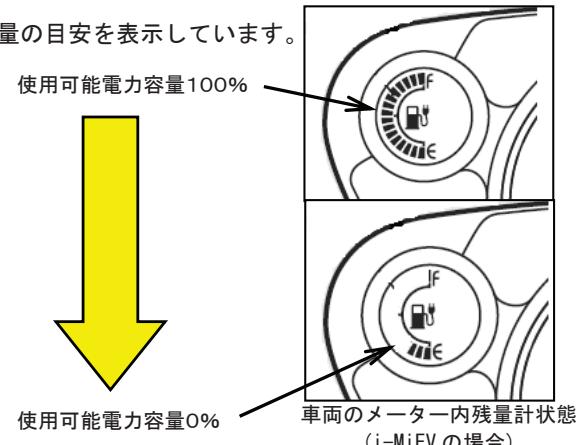
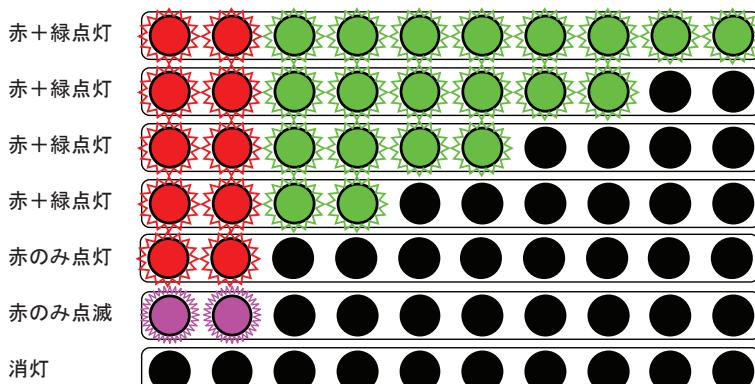
!**アドバイス**

- ・ 電源プラグはアース端子無/付ともに使用可能です。
- ・ テーブルタップ（延長コード）をご使用の場合、テーブルタップが使用できる消費電力の合計を超えない範囲で、電気製品を接続して下さい。
- ・ 起動手順に従って操作しても正常に作動しないときは、「6. 故障かな？と思ったら」をご覧になり、本商品が正しい状態になっているかを確認して下さい。
- ・ ご確認頂いても正常に作動しないときは、お近くの三菱自動車の販売店で点検を受けて下さい。

3) 使用中の表示部の見方 … 表示部を確認しながら、ご使用下さい。



① 使用可能電力容量 : 電力供給に使用できる車両の駆動用バッテリー容量の目安を表示しています。



アドバイス

- 赤のみ点灯／赤のみ点滅時は、供給できる駆動用バッテリーの電力が残り僅かな状態です。
消灯時は、供給できる電力がありません。OUTLANDER PHEVの場合、消灯後も車両のメーター内の駆動用バッテリー残量がなくなるまでご使用頂けます。(車両のメーター内の駆動用バッテリー残量がなくなった後、自動停止します。)
- 使用後も走行可能なように車両のメーター内の駆動用バッテリー残量計の目盛が3つ(駆動用バッテリーの残量約20%)を目安に、使用可能電力容量が0%となり、自動停止します。
- 使用後に車両を長距離走行する必要がある場合は、車両のメーター内の駆動用バッテリー残量計を確認しながら、余裕をもって本商品を停止して下さい。

② 出力 : 主電源スイッチの状態および出力状態を示しています。



(ゆっくり点滅時) : 主電源スイッチがONになっている状態です。



(早く点滅時) : AC100V電力供給準備中もしくは終了準備中の状態です。



(点灯時) : AC100Vが供給可能の状態です。

③ 過負荷警告 : 使用している電力量が大きいときに点灯・点滅します。



(点滅時) : 本商品の使用している電力量が1200Wを超えると点滅します。



(点灯時) : 本商品の使用している電力量が1500Wを超えると点灯します。

アドバイス

- 過負荷警告が点灯した場合は、それ以上電気製品を接続しないで下さい。使用している電力が大きく上限を超えている場合など、状況によっては自動的に停止することがあります、故障ではありません。
- 一部の電気機器や電動工具・汎用モータ類など電気製品の種類によっては、消費電力が1500W以下であっても、起動時に大きな電流が流れ(瞬間電力が1500Wを超え)、使用できないものがあります。その場合保護機能が働き、自動的に停止することがあります、故障ではありません。ご了承下さい。別の電気製品を使用する場合は本商品の起動手順に従い、再度主電源をONにして使用して下さい。
- 車両の駆動用バッテリーの電圧(注1)や使用環境温度(注2)により、出力が2割程度低下する場合があります。特に直射日光が当たる場所で使用する場合、内部が外気温以上に上昇し、過負荷警告点灯(注3)や異常停止する場合があります。

注1: 入力電圧範囲: 200V~370V

注2: 本体の作動保証温度は-30~60°C。保証温度外では作動できなくなる場合があります。

注3: お客様への注意喚起として点灯し、いつ停止してもおかしくない状態を意味します。

- ④ 異常 : 点灯した場合は、「5) 非常停止」に従い、本商品の非常停止ボタンを押して速やかに停止して下さい。

⚠️ 警告

使用中は排気口に手を近づけないで下さい。やけどをする恐れがあります。

- 4) 装置の停止 …… 本商品を停止し、電力の供給を終了します。

① 接続している電気製品の電源をOFFにして、電気製品の電源プラグを本商品のコンセントから取り外して下さい。

② 本商品の開始/停止ボタンを押して下さい。

③ 開始／停止ボタンを押すと、電力の供給が停止し、終了処理が始まります。

④ 本商品の表示部の出力インジケータがゆっくりとした点滅に変わり、電力供給が終了したことを確認して下さい。

💡 アドバイス

開始／停止スイッチを押すと、電気の供給終了処理が始まり、出力インジケータが早い点滅に変わります。

処理が終わると、出力インジケータがゆっくりとした点滅に変わり、しばらくすると消灯します。

- ⑤ 本商品の主電源スイッチを、OFFにして下さい。

⑥ 給電コネクターのインジケータの消灯を確認し、給電コネクターのリリースボタンを押しながら、車両から取り外して下さい。

💡 アドバイス

・ 開始/停止ボタンを押して本商品を一旦停止させると、再度開始/停止ボタン押しても電力供給を再開しません。

再度使用するときは主電源をOFFにして、「2) 装置の起動」に従い最初からやり直して下さい。

・ 電源停止の際、表示ランプがチラつく事がありますが故障ではありません。

・ 給電コネクターのインジケータが赤く点灯している時には、給電コネクターを車両から取り外す
ことができません。

- ⑦ 車両のパワースイッチがOFFになっていることを確認して下さい。

- 5) 非常停止 …… 異常表示が点灯、もしくは異常を感じた場合に、速やかに停止して下さい。

① 本商品の非常停止ボタンを押して下さい。

② 本商品の表示部の全インジケータが消灯したことを確認し、主電源スイッチをOFFにして下さい。

③ 車両のパワースイッチが、OFFになっているのを確認して下さい。

④ 給電コネクターのインジケータが消灯していることを確認し、リリースボタンを押しながら、
給電コネクターを車両から取り外して下さい。

⑤ 接続している電気機器の電源をOFFにして、電気製品の電源プラグを本商品のコンセントから取り外して下さい。

⚠️ 注意

異常時以外は非常停止ボタンを押さないようにしてください。

MiEV power BOXの非常停止ボタンを押すと、車両又はMiEV power BOX に何らかの異常があるとみなし、
車両が正常な状態でも、車両の安全保護システムが作動し、充放電や走行ができなくなる場合があります。

💡 アドバイス

・ 非常停止を解除するには、もう一度押して下さい。

・ 非常停止ボタンを解除後、電源を再投入しても正常に動作しない場合は、三菱自動車販売店にご相談下さい。



通常状態



非常停止状態

・ 非常停止ボタンの上には、誤操作防止のために透明なカバーがついています。押すときは、カバーを上に
押し上げて使用して下さい

4. 保管方法

- 1) 本商品停止後は、十分に温てから片付けて下さい。

！警告

故障の原因になるだけではなく、火災を引き起こす恐れがあります。

- 2) 上に物を乗せないで下さい。

！注意

給電コネクター及び給電ケーブルなどを、本体の上に置かないで下さい。
本体や給電コネクターを傷付けたり、破損する恐れがあります。

- 3) 横向きやひっくり返した状態では、保管しないで下さい。

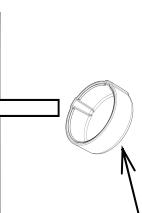
- 4) 車両の中で保管しないで下さい。

- 5) 高温多湿になる場所は避け、ホコリがたまらないように保管して下さい。

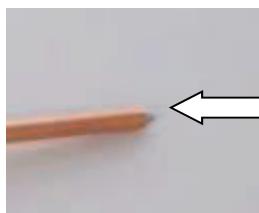
- 6) 給電コネクターとアース棒は、付属のキャップを付けて保管して下さい。



給電コネクター



給電コネクター用
キャップ



アース棒(先端部)



アース棒用キャップ

5. メンテナンス方法

- 1) 汚れた場合は、乾いた布で拭いて下さい。

！注意

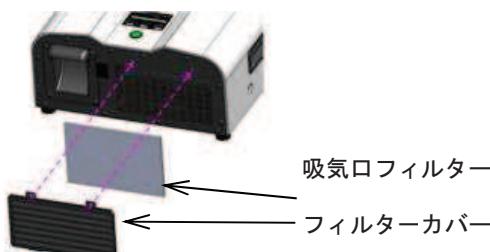
本商品を、水洗いしないで下さい。内部の電気部品が、ショートする可能性があります。

- 2) 吸気フィルターは、快適にご使用頂くために月に一度お手入れをして下さい。

長期間保管した後にお使いになる場合、フィルターの汚れを確認して下さい。

アドバイス

- 吸気口フィルターを点検する際は、下図参照の上、プラスドライバーでフィルターカバーのネジ2箇所を外して下さい。
- フィルターにホコリ、ゴミなどが詰まっている場合は、オキシダントまたは中性洗剤で洗浄し、自然乾燥させた後、再度取付けてご使用下さい。掃除機による吸引や油類の付着は避けて下さい。



- 3) 吸気口フィルター、フィルターカバー、アクセサリーソケットヒューズを破損・紛失した場合、三菱自動車の販売店にご相談下さい。

6. 故障かな？と思ったら

起動手順に従って操作しても正常に作動しないときは、次のことを確認して下さい。

- 1) 電気製品の電源プラグが接続されている場合は、取り外して下さい。
- 2) アクセサリーソケットケーブルが、しっかりと車両に接続されているかを確認して下さい。
- 3) 車両のパワースイッチが、ACCになっているかを確認して下さい。



パワースイッチがREADY(走行可能)状態では、安全のため本商品は起動できません。

- 4) 非常停止ボタンが通常状態(OFF)になっているかを確認して下さい。
- 5) 車両の駆動用バッテリーの残量を確認して下さい。



車両の残量計が3目盛以下だと、電力の供給が開始できない場合があります。

- 6) アクセサリーソケットケーブルのプラグ内のヒューズが切れていないかを確認して下さい。
切れている場合は、ヒューズを交換して下さい。



参考) 交換用ヒューズ仕様 :

ガラス管ヒューズ、定格電圧 125V、定格電流 8A
溶断特性B種、サイズ 30mm



注意

- ・ 指定以外のヒューズを使用しないで下さい。
- ・ 本商品の主電源スイッチがOFFの状態で、ヒューズの確認・交換を行って下さい。

使用する電気製品の電源が入らない場合は、電気製品の電源プラグが本商品のコンセントにしっかりと接続されているかを確認して下さい。



- ・ 過負荷警告が点灯した場合は、それ以上電気製品を接続しないで下さい。使用している電力が大きく上限を超えている場合など、状況によっては自動的に停止することがあります。故障ではありません。
- ・ 一部の電気機器や電動工具・汎用モータ類など電気製品の種類によっては、消費電力が1500W以下であっても、起動時に大きな電流が流れ(瞬間電力が1500Wを超える)、使用できないものがあります。その場合保護機能が働き、自動的に停止することがあります。故障ではありません。

ご了承下さい。

ご確認頂いても正常に作動しない場合は、お近くの三菱自動車の販売店で点検を受けて下さい。

本取扱説明書は、本商品の取扱いについて重要な注意事項が記載されています。
本商品をお譲りになるときは、必ず本取扱説明書も一緒に渡し下さい。

※本商品は、製品改良やその他の理由により、予告なく仕様を変更することがあります。

M i E V p o w e r B O X 問診シート

1. 不具合発生状況をご記入下さい。

記入日： 年 月 日

| | | | |
|-----------------|-------------------------------|-----------------|-----------------------|
| 不具合の内容 | 主電源ON | 開始ボタンON | 給電中 |
| | 停止ボタンON | 主電源OFF | その他： |
| | 異常の点灯 | あり | なし |
| | 給電動作 | 出力しない その他（ ） | 給電コネクターのインジケーターが点灯しない |
| 天候/気温 | 晴れ | 曇り | 雨 |
| | 雪 | 雷 | 分からぬ |
| | 屋内で使用 | | |
| | | ℃ | 分からぬ |
| 発生頻度 | 時間・操作に限らず常時 | | |
| | 特定の操作に限り常時 (操作：) | | |
| | 時々 (過去 回) | 1度のみ | |
| 不具合発生時に使用した電化製品 | 掃除機 | 冷蔵庫 | ホットプレート |
| | 赤外線/セラミックヒーター | ドライヤー | その他： |
| 異常解消タイミング | 解消せず | 電化製品を全て切ると解消 | |
| | 電化製品を一部切ると解消 (切った電化製品：) | | |
| | 使用開始後しばらくして解消する (解消するまでの時間：) | | |
| | その他（ ） | | |

2. 通常の使い方について、ご記入下さい。

| | | | |
|--------------|---------------------------------|---------------------|-------------------|
| 購入、設置状況 | 購入年月 | 【 年 月】 | |
| | シリアルNo | | 分からぬ |
| 使用頻度/使用場所 | 週に4~7日使用 | ■ 一回あたり使用時間 約【 】 時間 | () |
| | 週に1~3日使用 | ■ 主な使用用途 () | |
| | 殆ど使用しない | 最後に使用した日： (日前) | |
| | 屋外が多い | 屋内が多い | どちらでもない |
| 利用状態 | 本体のフタを開けた事がある 改良して使っている | | |
| 給電コネクターの使用状況 | 給電コネクター (端子) を濡らしたことがある (雨天充電等) | | 給電コネクターを落としたことがある |
| | その他 () | | |

点検結果

点検日： 年 月 日

| | | | |
|-----------------------|----------|-----|----------|
| パネル表示、家電接続時動作 | | | |
| 給電コネクター/アクセサリーソケットの状態 | 異常なし | 未確認 | |
| | 異常あり () | | |
| 消耗 (吸気口フィルタ) 部品の状態 | 異常なし | 未確認 | 異常あり () |
| 処置 | 交換 | 修理 | 無し |
| | 他 | | |